

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める		

基本方針	適切な都市機能の確保を図るため、地域特性に応じた適正で計画的な土地利用を進めます。
-------------	---

都市計画部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン改訂に必要となる基礎調査を実施し、課題等の抽出作業を実施することができた。 ・都市計画基礎調査を計画的に実施し、土地利用の動向を的確に把握することができた。 ・線引き見直し(案)や高度地区の見直しの優先地区を指定する等、都市計画の手続きを進めることができた。 ・田園まちづくり制度による計画策定については、市提案型による指定により5地区の特別指定区域を指定することができた。 ・都市計画法及び条例に基づき許可審査を行い、秩序ある市街化の促進、良好な都市環境の誘導に貢献できた。なお、審査期間の短縮化を図るため事務の見直しを行い、事務の効率化を図ることができた。 	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
田園まちづくり制度による特別指定区域指定地区数	地区	7 (平成21年度)	34 (平成26年度)	26
工場や高層建築物の秩序だった配置に関して満足している市民の割合	%	43.6 (平成20年度)	36.2 (平成26年度)	49

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 秩序あるまちなみを形成する		

基本方針	多様な手法により住民主体のまちづくりを進め、地域特性を生かした秩序ある都市環境とまちなみの形成をめざします。
-------------	--

都市計画部

【施策評価】	進捗状況 ： 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ・加古川市景観まちづくり条例に基づき、大規模建築物等の届出事務を適正に遂行するとともに、兵庫県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の許可事務を適正に遂行し、良好な街なみ景観の形成を図った。 ・市内主要地点の花壇6箇所の維持管理と公共空地5か所において緑化ボランティア活動を支援し、協働による美しいまちづくりを推進した。 ・八幡町において田園まちづくり制度により住宅団地の開発が可能となった地区において、周辺の田園環境に相応しい良好な居住環境の確保、緑豊かな街並み環境の創出など、魅力ある街区形成を図ることを目的に、地区計画を策定し都市計画決定した。 ・新野辺南土地区画整理事業の清算金については、相続人の確定作業を行い、徴収に向けての準備を進めた。 ・志方中央地区については、土地区画整理組合設立に向け、関係機関と精力的に協議を行っている。 	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
秩序あるまちづくりに関連するルールを策定した地区数	地区	16 (平成21年度)	18 (平成26年度)	19
違反広告物の簡易除去件数(1回あたりの平均)	件	35 (平成21年度)	16 (平成26年度)	10
景観やまちなみの美しさに関して満足している市民の割合	%	43.2 (平成20年度)	41.4 (平成26年度)	51

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本 目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する		

基本 方針	加古川駅周辺地区および東加古川駅周辺地区、別府駅周辺地区については、本市の都心および副都心にふさわしい地区として、商業、教育、文化、住居など多様な都市機能の誘導・集積を図ります。また、地域拠点については、各地域の特性を踏まえながら、ふさわしい機能の確保に向けた取り組みを進めます。
------------------	--

市民部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>加古川駅周辺に集客を促す行政サービス機関として、多様な市民のニーズに対応するミニ市役所として機能している。</p> <p>施設については、老朽化への対策について施設の所有者である株式会社加古川産業会館へ要望しながら、市民が利用しやすい施設を目指している。</p> <p>これまでの実績を踏まえると概ね順当な結果であったと思われる。</p>	

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>加古川駅南有料駐輪場の利用率向上のため、公益財団法人自転車駐車場整備センターとの協議を整え、一時預かり無料時間の拡大及び、定期預かり利用料金の引き下げを実現した。</p> <p>無料駐輪場及び有料駐輪場の利用状況についても調査を行い、無料駐輪場の必要性を再確認した。</p> <p>新規設置にかかる無料駐輪場については用地を確保している。</p> <p>上記のことから、事業の進捗状況としては概ね期待どおりであるが、今後は無料駐輪場の新規設置を推進していく。</p>	

都市計画部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>・寺家町周辺地区防災街区整備事業においては、権利変換計画を策定し、転出者への建物補償等及び建物除却工事と新築工事の一部について補助金の執行を行った。平成28年8月の工事完了に向けて概ね順調である。</p> <p>・厄神駅周辺道路整備事業については、工作物等算定調査及び交通量調査を実施した。厄神駅北駐車場については、平成25年4月より実施している時間貸し駐車料金の上限設定(24時間最大600円)が定着し、平成26年度も駐車場利用者及び料金収入が増加した。</p> <p>・加古川駅北土地区画整理事業については、平成27年末の供用開始に向けて都市計画道路溝之口線(幅員20m、延長170m)の整備に着手するとともに、その他区画道路2路線の整備を行った。これにより、事業における道路整備率が93%になった。</p> <p>・加古川駅前土地区画整理事業については、事業完了を目指し平成27年6月に換地処分を行うことを目標に事業計画の変更と換地計画縦覧を実施し、権利者等への周知及び説明を十分に行ったうえで、県知事による換地計画の認可を受け、計画どおりに進めることが出来た。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	%	50.6 (平成20年度)	38.1 (平成26年度)	54

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する		

基本方針	国、県など関係機関と連携しつつ、市域内から広域へつながる円滑な交通の実現を図るとともに、経済面での需要創出や生産力の増強など道路整備の波及効果が最大限発揮されるよう、効果的な幹線道路ネットワークの形成をめざします。また、東播磨港においては、海上物流機能を支える基盤の強化を促進します。
-------------	--

地域振興部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
市民と海の接点としてレクリエーションなどへの利用を促進することを目的として港湾交流機能(海洋文化センター)を設置、運営管理しており、利用者数、満足度も高く、今後も継続して運営管理を行っていく必要がある。	

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
東播磨道の完成により、加古川バイパス等幹線道路へのスムーズなアクセスが可能となり、南北方向の交通渋滞の緩和を図るとともに、広域的な幹線道路ネットワークの充実を図った。	
都市計画道路尾上小野線の供用をはじめ、加古川別府港線、中津水足線等の用地取得を進め、都心部の渋滞緩和に寄与する幹線道路整備に向けて着実な事業進捗を図った。	
また、東播磨港においては、各種港湾関係団体との連携のもと、クリーンキャンペーン(リフレッシュ瀬戸内)を実施するなど、維持管理に努めている。	

都市計画部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
・地域の将来像や交通環境の変化及び将来における交通需要等を総合的に勘案した幹線道路ネットワークの形成のため、長期に渡って未整備となっている都市計画道路の見直し作業を兵庫県作成『都市計画道路見直しガイドライン』に基づき実施し、廃止対象路線7路線を選定のうえ公表した。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
市北部地域から市役所周辺までの所要時間(県立加古川医療センター～市役所周辺)	分	22 (平成19年度)	12 (平成26年度)	16
幹線道路の整備に関して満足している市民の割合	%	44.4 (平成20年度)	47.1 (平成26年度)	52

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する		

基本方針	高齢社会の到来や環境問題などの社会情勢の変化を踏まえながら、地域にふさわしい交通機能の充実を図り、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立をめざします。
-------------	---

都市計画部

【施策評価】	進捗状況： 「B 概ね期待どおり」
<p>加古川市地域公共交通アクションプランに基づき、市町村運営有償運送「上荘くるりん号」の本格運行に向けた取り組みを進めるとともに、交通事業者に対して公共交通運行による損失の一部を補填することで、路線バスの維持と公共交通不便地域の解消を図った。特に、上荘くるりん号については、今後、他の地域において、地域完結型交通を検討していくうえで、重要なモデルになると評価している。また、バスロケーションシステムについては計画どおり進捗しており、平成26年度は姫路市域内での運用が開始された。本市へは平成27年度下半期に導入予定であり、利用者の利便性向上が図れるものと考えている。一方、新たな収入源確保策としてのネーミングライツについては制度設計を進め、平成27年10月1日からの開始の予定である。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
コミュニティ交通の利用者数	人	597,487 (平成21年度)	635,743 (平成26年度)	610,000
鉄道の便利さに関して満足している市民の割合	%	63.6 (平成20年度)	61.3 (平成26年度)	67
バスの便利さに関して満足している市民の割合	%	33.7 (平成20年度)	33.7 (平成26年度)	41

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	01 防災・防犯のための基盤を整備する		

基本方針	災害に強い都市基盤の整備や犯罪防止、交通安全に寄与する施設環境の整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進します。
-------------	--

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>平成24年度に実施された通学路緊急合同点検については、平成26年度で対策完了となっている。防犯灯及び交通安全施設の設置については、各地域からの要望等について対応することができた。河川及び排水路の整備、維持・補修等を計画的に実施しており、浸水被害の軽減に効果を発揮している。法華山谷川流域減災対策事業については、輪中堤詳細設計を完了し、平成27年度工事着手に向けて順調に進捗している。</p> <p>また、総合治水対策については、「加古川市の総合治水対策」を平成26年度に取りまとめ、平成27年度より各担当部署により、対策事業に着手する運びとなっている。</p>	

都市計画部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ・近年の大規模な地震の発生時に滑動崩落など甚大な被害が発生し、全国的に宅地耐震化の必要性が認識される中、大規模盛土造成地分布状況マップを作成し、速やかに公表したため、住民等の宅地造成に伴う災害に対する意識が深まるとともに、今後行う現地調査等に対する住民等の理解が得られやすくなった。 ・簡易耐震診断等推進事業については、実施棟数では前年度実績(64件)から6件減(58件)であったが、実施戸数では前年度実績(78戸)より5件増(83戸)となり、対予算ベース(100戸)で83%の執行となったことから、今後も申込み件数の増加が予想される。 ・住宅耐震改修促進助成事業については、計画策定補助、耐震改修工事補助ともに増加傾向にあり、特に耐震改修工事補助に関しては、対前年度7件増の17件の実施となった。市内の住宅耐震化率については、平成26年度末で約80%で推移しているが、平成27年度末の目標を90%としていることから、広報や出前講座等により啓発に努める。 ・大規模建築物耐震診断等助成事業については、対象施設の所有者と定期的に連絡を取り事業の進捗状況を確認するとともに、助成制度の有効活用を図れるよう協議を継続している。 	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
民間住宅の耐震化率	%	70.0 (平成18年度)	80.4 (平成26年度)	90
防犯灯設置件数	件	17,558(昭和39年度～平成21年度の累計)	18,099(昭和39年度～平成26年度の累計)	18,000(昭和39年度～平成27年度の累計)
地域の防災体制に関して満足している市民の割合	%	45.8 (平成20年度)	41.7 (平成26年度)	53

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	02 生活に身近な道路を整備する		

基本方針	地域内道路の計画的・効果的な新設や改良、適切な維持管理に努め、安全で快適な地域交通の確保をめざします。
-------------	---

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>道路補修事業については、路面性状調査結果に基づき舗装の補修を実施した。橋梁長寿命化修繕事業のうち、修繕計画策定では102橋の修繕計画を策定し、ホームページで公表した。また、対汐橋においては、橋梁上部工撤去、及び下部工の補修を実施しているが、平成26年度に完了している。</p> <p>市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の新設や拡幅整備、道路改良、踏切拡幅などを計画的・効果的に実施することにより、危険個所の改善が図られた。しかし、地元町内会からの拡幅要望は多数あり、事業の拡充により更なる安全性の向上が必要である。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
緊急対策が必要な踏切のうち歩道設置などの構造改良を実施した箇所数	箇所	5(平成20～22年度の累計)	7(平成20～26年度の累計)	10(平成20～27年度の累計)
地域内の道路の安全性や便利さに関して満足している市民の割合	%	32.3 (平成20年度)	36.3 (平成26年度)	40

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	03 良質な住宅供給を促進する		

基本方針	安全・安心な居住環境の形成と住宅セーフティネットの構築を進めるため、既存の住宅ストックの活用を図るとともに、多様なニーズに対応した良質な住宅の供給などを促進します。
-------------	--

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
<p>市営住宅については、長期に住宅を活用するため、計画的な維持補修が必要であり、市財政状況を鑑みて、整備スケジュールの見直しを図りつつ事業を進めている。</p> <p>加古川市公営住宅等長寿命化計画に基づき、平成26年度実施した東神吉住宅の下水道接続工事は、予定区域内を変更することなく実施でき、入居者の住環境改善を図れた。平成27年度に残り51戸の住戸及び集会所の下水道接続を行い、東神吉住宅の下水道整備は完了する。加古川市公営住宅等長寿命化計画どおり進んでいる。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
長期優良住宅認定件数	件	320 (平成21年度)	2,745(平成21～26 年度の累計)	2,800(平成21 ～27年度の累 計)
住宅相談利用件数	件	90(平成17～21 年度の累計)	106(平成17～26 年度の累計)	200(平成17～ 27年度の累計)

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する		

基本方針	良好な水辺空間の創出と質の高い公園・緑地などの整備による水と緑の空間の形成をめざします。また、将来の需要や市民ニーズに対応した公園墓地などの整備・運営に努めます。
-------------	---

市民部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>斎場管理運営事業では、平成25年度で1回目の指定管理期間が終了し、平成26年度から平成30年度までの指定管理期間を引き続き同じ指定管理者で開始した。適切な管理運営が実施されている。</p> <p>斎場維持補修事業では、火葬炉の全面積替え等の大規模修繕は、平成22年度から25年度で改修を行ったため、平成26年度は大規模修繕はなく、付属設備の修繕を行った。</p> <p>霊柩車運行業務助成事業では、霊柩車の利用は増加しているが、死亡者数も増加しているため、霊柩車借上率は平成25年度と比較し低下した。(91%)</p>	

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>公園維持管理事業では、計画的な剪定・草刈等の委託により、概ね適正な管理ができているが、人件費の高騰や光熱水費の値上り等今後、維持管理コストの増加が見込まれることから、照明器具のLED化(リース)の検討により、更なるコスト節減に向けた検討が必要である。</p> <p>権現総合公園整備事業では、NEXCO西日本と10年間(平成36年まで)の協定延長および、当初の事業計画を抜本的に見直す事として協定を締結した。</p>	

都市計画部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
<p>意識調査やパブリックコメントから把握した市民の意向、関係機関や専門家の意見を踏まえ、本市の「緑」の現状と課題に対応し、緑化の方針を示す加古川市緑の基本計画を策定することができた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
花とみどりのまちづくりリーダー養成講座卒業生数	人	268(平成14～21年度の累計)	388(平成14～26年度の累計)	500(平成14～27年度の累計)
公園・緑地や水辺の整備に関して満足している市民の割合	%	49.6 (平成20年度)	46.6 (平成26年度)	55

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	07 地域の情報化を推進する		

基本方針	多様化する高度情報化社会に対応するため、情報通信基盤の整備や有効活用を促進し、市民のだれもが情報格差なく生活できる高度情報社会の形成をめざします。
-------------	---

秘書室

【施策評価】	進捗状況： 「B 概ね期待どおり」
<p>一斉同報手段の一つとして防災ネットは有効であることから、登録を促す様々なPRを実施し、その登録者数も順調に増えている。また、ホームページのアクセス数やツイッターやフェイスブックの利用者も増えており、様々な情報通信基盤を活用し、市政情報を入手しやすい環境の整備に努めている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
市ホームページアクセス件数	件	735,022 (平成21年度)	801,913 (平成26年度)	1,300,000
防災・生活情報ネットワーク登録件数	件	29,897(平成17 ～21年度の累 計)	130,025(平成17～27 年度の累計)	61,400(平成17 ～27年度の累 計)